

赤潮防除剤 ～入来モンモリの強化版, 改良型粘土とは？～

漁場環境部 宮田 翔也

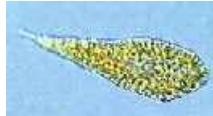
<改良型粘土とは？>

◎従来の赤潮防除剤である入来モンモリに食品添加物の焼ミョウバンを加えたもの

- ・従来の赤潮防除剤である入来モンモリはコクロディニウムポリクリコイデスには効果が高いものの、シャットネラアンティカには効果が低い
- ・焼ミョウバンを添加することで、シャットネラアンティカに対しても防除効果が大きく向上



コクロディニウム ポリクリコイデス



シャットネラ アンティカ



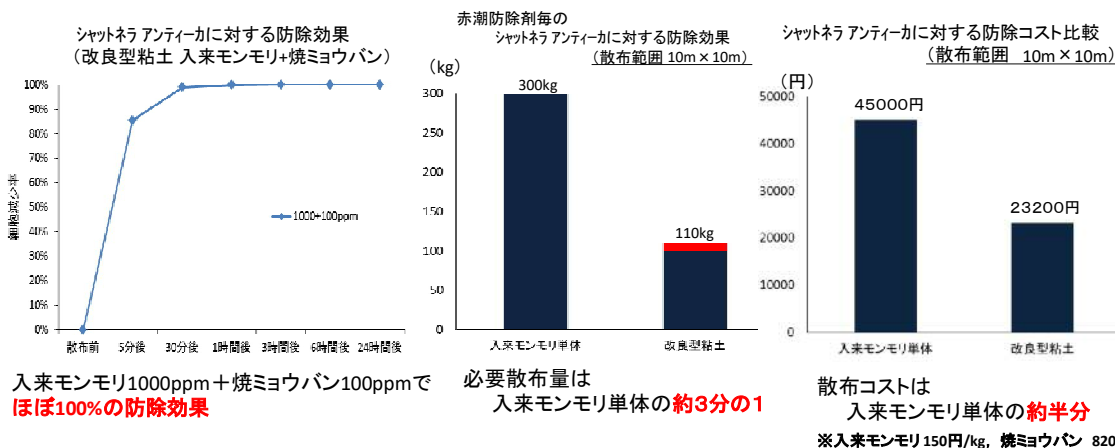
入来モンモリと焼ミョウバンを混ぜて散布！



入来モンモリ散布時のシャットネラ アンティカの変化

<改良型粘土の実力>

◎焼ミョウバンの添加により、多くの有害プランクトンに対し防除効果が向上したほか、必要散布量やコストを抑えることに成功



<生物への安全性について>

◎計8種類の水産生物について、通常の散布濃度(1m²あたり入来モンモリ1kg, 焼ミョウバン0.1kg)における安全性を確認

以下の計8種類の水産生物を改良型粘土に曝露させ、斃死がないことを確認

- ・ブリ(1 kg, 1.2 kg, 3.1 kg)
- ・カンパチ(3.5 kg)
- ・マダイ幼魚(21 g, 愛媛大学実施)
- ・クルマエビ
- ・ヒオウギガイ
- ・アコヤガイ
- ・イワガキ
- ・アサリ

※ただし、散布濃度が高すぎると悪影響が出る恐れがあるため、注意が必要



安全性確認試験の様子



「改良型粘土を用いた赤潮被害防止マニュアル」

水産技術開発センターHP (kagoshima.suigi.jp) にて公開中

